

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (注1)		保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C (注3)		
	使用湿度範囲	40 % ~ 80 % (注2)		保存湿度範囲	40 % ~ 70 % (注3)		
	電 圧	AC 250 V	UL・CSA 規格	AC 30 V	適合ケーブル UL1061 : AWG22~30 UL1007 : AWG24~30		
	電 流	2 A		2 A			
				適合コネクタ	DF11-22SC* DF11-2428SC* DF11-30SC*		
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。				○	○
電 氣 的 性 能	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	ランス強度	圧着端子が抜ける時の強度を測定する。		11.8 N以上であること。		○	—
	耐振性	周波数 10~55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2°C、湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。		①絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35°C 時間 30 → 5~15 → 30 → 5~15分 を 5 サイクル 試験する。		①絶縁抵抗 : 1000 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
備考							
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。							
(注2) 結露のないこと。							
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。							
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△	1	DIS-H-00000313		HT. SATO	TS. FUKUSHIMA	15.04.02	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					承認	KJ. KATAYOSE	05.01.05
△ フォーマット変更					検図	TY. OMA	05.01.05
					担当	IO. DENPOUYA	05.01.05
					製図	IO. DENPOUYA	05.01.05
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番	SLC4-162404-01		
HRS	製品規格表			製品名	DF11-*DS-2C(20)		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL543	△	1/1